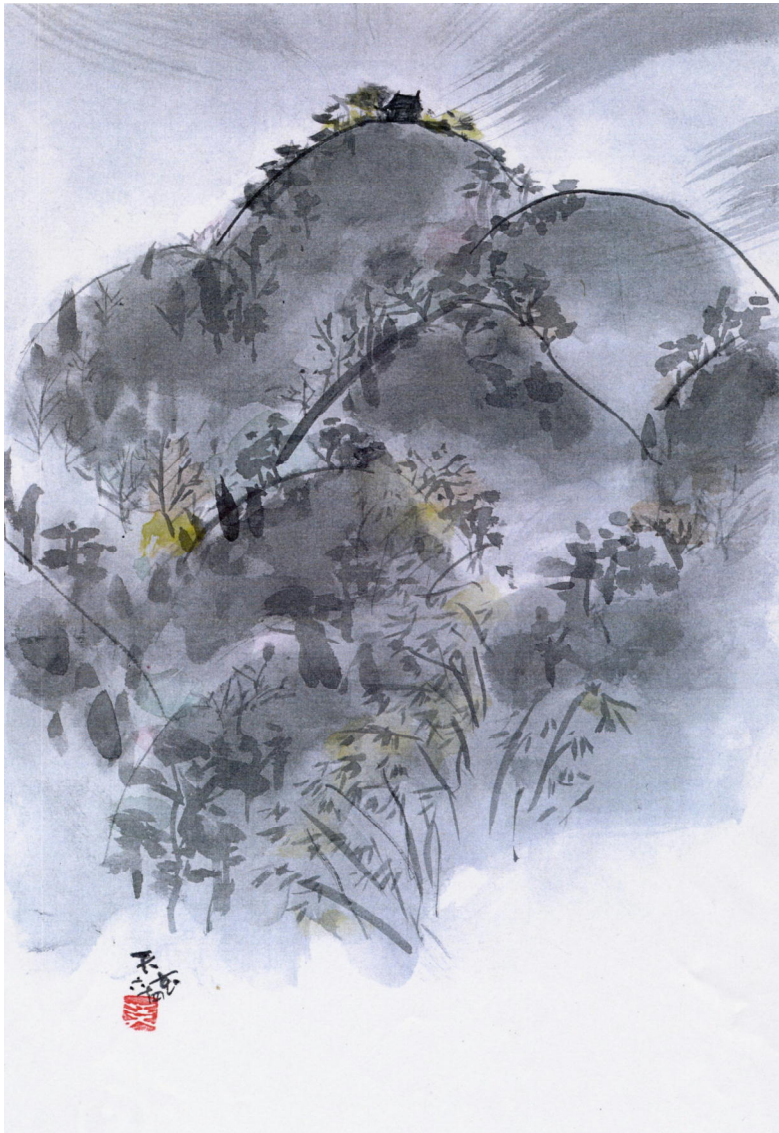


発行所
天理教笠岡大教会

かさおか編集掛
笠岡市用之江377
郵便番号714-0066
(0865)

電話 66-1311
FAX 66-1314

かさおか



初代の心にかえり信仰の喜びを
深めよう 伝えよう 広げよう
一、持ち場立場で日々理作り
一、家族揃って教会参拝
一、一日一件にをいがけ

立教173年
7月号

約1千人がおぢばに参集！

— 創立120周年に向けて決意も新たに —

6.27 笠岡別席ひのきしん団参 実施

大教会では、6月27日「笠岡別席ひのきしん団参」を実施。来年迎える創立120周年記念祭に向けて“初代の心にかえり信仰の喜びを深めよう 伝えよう 広げよう。”をスローガンに○持ち場立場で日々理作り○家族揃って教会参拝○一日一件にをいがけ——を實踐項目として歩んできた成果を実行に移そうと行われたもの。

本部6月月次祭に引き続き、また日曜日ということもあり1泊2日、日帰り団体、個人帰参など各教会ともこの日に向けて実動。約1千人(別席者含む)が参加。記念講演、おつとめ、ひのきしんが行われた。



東講堂を埋めつくした参加者は
伊藤先生の感動的な講話に聞き入った

午前11時から、東講堂を会場に伊藤芳正先生(幅下大教会長)を講師に迎え、記念講演が行われた。伊藤先生は自身の布教体験を通し、まず「過去を引きずり後悔を続け、先案じを重ね、今現在一杯のご守護を頂いている姿を忘れている」と現在の社会現状を指摘され、続いて「陽気ぐらしに向かう姿には今、自分の足元にあるご守護、幸せ、喜びを感じていくところに陽気が現われてくる」と、どんな中でも喜びを見つめ、感じられる心の

素晴らしさを述べられ「私たちお道の信仰者は人の生きる目的に向かって、1人からでも現在一杯のご守護を頂いていることを思い、その喜びを社会に発信していくことが大切」と結ばれた。引き続き、大教会長様から、改めて創立120周年記念祭に向かっての實踐項目の大切さ、日々の真実が教祖130年祭に向う大事な経過であり、また10月31日「笠岡一手一つ大会」には、よふぼく家族が人のおたすけを願って、一家揃って参拝し、おつとめをさせて頂こうと参加者に話された。昼食後、参加者は東礼拝場に集合。拍子木を入れてのおつとめをつとめ、創立120周年に向かう決意を誓い合った。当初、本部境内地での除草ひのきしんが予定されていたが、突然の降雨のため東礼拝場から教祖殿までの廻廊ふきひのきしんに汗を流した。



国々処々より参集した参加者

笠岡大 接戦の末 東備分下す

全教野球大会 岡山地区予選



笠岡大・四回裏敵失で枝広(東福山)が同点ホームイン

	1	2	3	4	5	6	7	計
東備分	0	1	1	0	0	0	0	2
笠岡大	0	0	1	1	0	1	×	3



全教大会出場の笠岡ワールドブラザーズ

第38回全教野球大会(布教部文化体育課主催)の岡山地区予選が7月4日、矢掛町小田球場で行われ笠岡大(笠岡ワールドブラザーズ)が東備分(東備サワデーズ)を3-2で下し4年連続全教大会出場を決めた。

昨年と同カード。強力打線の東備分に対し細やかなチームプレーに徹した笠岡大。
笠岡大先発三代(米府)は一回表、コーナーをつく丁寧な投球で無難に終えたが、二回東備分、左翼エンタイトル2塁打を含め先制。更に三回、右翼越えの本塁打で2点目。
笠岡大は2点を追う四回裏、単打と敵失で枝広(東福山)が同点のホームを踏んだ。更に六回にも

田中(福山)の四球を足がかりに足を絡めた攻撃で敵失をさそい大月(稲倉)がホームイン。これが決勝点となった。投げては四回から救援の枝広(東福山)が東備分の強打を散発に押えた。
平盛秀年監督は「昨年も対戦したがチーム力は確実にあがっているし、個人の力を比べても向うが数段上。しかし野球はチームプレーなので与えられた役割をきちんと果たした笠岡に分があったのだろう」と勝因を話した。
同大会は10月28日から30日まで全国地区予選を勝ちぬいたチームがおちばに集結し優勝が争われる。

岡山地区では岡山大、東備分、笠岡大で予選が行われ岡山大、東備分の勝者、東備分が笠岡大と対戦した。

おやさとふしん 青年会ひのきしん隊



青年会笠岡分会は、この度おやさとふしん青年会ひのきしん隊第759回隊(6月隊)に、入隊しました。入隊したのは、上原繁次、山田英嗣、中村剛史、重政理治、佐藤真理志、余村元、高島一定の7名。

6月1日から24日までの間、こどもおぢばがえり会場、おやさと各所、蛇谷山などで、玉なす汗を散らしつつ、ひのきしんに励みました。

隊期半ばの16日には、郡山市内へ、にをいがけに赴き、雨の中、神名流し、路傍講演、戸別訪問を行いました。更に21日も有志で奈良市内へ、にをいがけに出向きました。

同じ班になった泉分会の方々から多くの事を学ばせていただき、笠岡分会にとって、またそれぞれ

れにとっても、非常に実りある1ヶ月となりました。

ありがとうございました。

(青年会委員長 上原繁次)

来年は、大教会創立120周年の年。笠岡分会は、本部から打ち出している、入隊者13人達成を目指して、活動を進めていきたいと思います。ひのきしん隊に入隊しようと心を決めれば、引き寄せていただけるところです。

どうぞ、一人でも多くの入隊をお待ちしております。最後になりましたが、入隊に際して、各教会の方々、お心寄せをいただきました皆様、また詰所の方々、本当に

こころの詩

▼養徳社発行『陽気』誌七月号、「道柳」より転載

▽今回の課題は「教」、笠岡に繋がる教友の方が選ばれ掲載されましたので転載させていただきます。おめでとうございます。

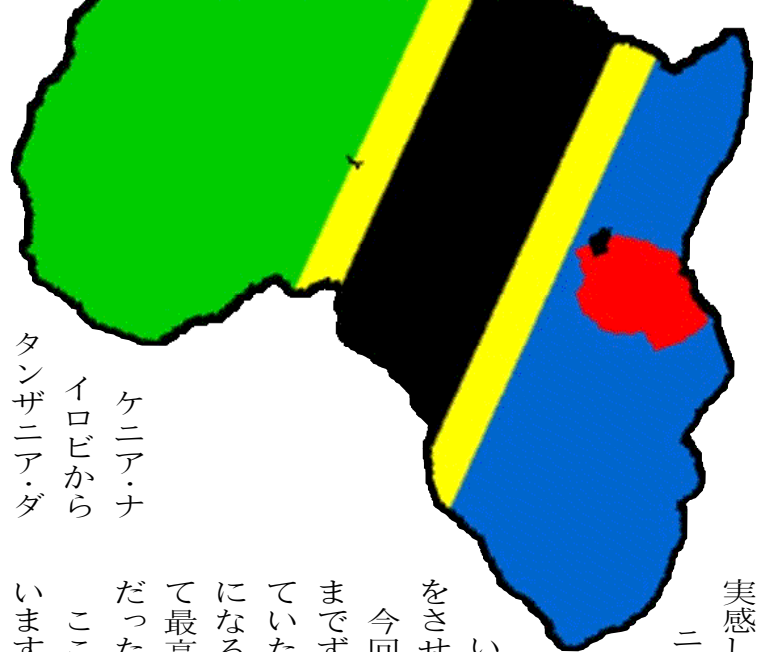
準秀詠 東悠分教会前会長夫人 田林 美智子

御教えや一日一日の生きる糧

▼表紙の絵

神邊分教会 よふぼく 小坂道利さん

タンザニア伝道記



ケニア・ナイロビから

タンザニア・ダ

ルエスサラームまで長距離バスで約16時間。日本からタンザニアまでのフライトは約17時間。志郎さんより声を掛けていただき、「是非今年も参加させてください」と意気込んで返事をした。

ケニアに来させていたから1年半の間に去年今年と2度もタンザニア訪問の句の巡り合わせをいただき、感謝の思い、そして教祖のお導きを強く感じた。

こちらに来てから、神様からの御守護、私たち子どもをいつも見守ってくださる親心に抱かれながら日々通らせていただけているという事を

実感している。日本から志郎さんと佐藤さん、ケニアからの自分が、遠く離れたアフリカの大地タンザニアで待ち合わせ、お互い無事に会わせていただけた事。それだけでも神様の御守護がなければ、神様の思いに添ってなければ難しい事。神様の御用をさせていただけているという実感が湧いた。

今回のタンザニア訪問では、朝から夜寝る間際までずっとおたすけ三昧。こんなに取り次ぎさせていただいた事は今までなかった。手首が腱鞘炎になるんじゃないかってくらいに。よふぼくとして最高に幸せな仕事を与えていただいた2週間だった。

ここアフリカには貧困に苦しむ人々がたくさんいます。電気は無い、家は土壁か板で組み立てた小屋、トイレは穴を掘っただけの簡単な作り、そして乾燥地帯に住む女性や子どもは毎朝水汲みに片道4時間、つまり往復8時間。水を得る事で1日の仕事が終わります。

私たちは神様の溢れんばかりの御守護をいただきながら、感謝するどころか時には不足や不満を口にしていきます。困っている人の為に祈り、また働かしていただきたいと思えます。

今日もそして明日も重たい容器を背負い生きる為に水を求めてひたすら歩いている人がいます。

(米府分教会 三代 幸徳)

談話室



芦辺の会長さんを偲んで

芦品分教会 金谷 眞佐代

芦辺の会長さんが出直されて、早いものでもう、七ヶ月くらいたっています。いつか、芦辺の会長さんの事を書かせて頂きたいと思いつつ、やっと書ける日がやってきました。

私ももう一人、東広島市の高屋町からひのきしんにバイクで三時間かけて来られる稲田さんという方と芦辺の会長さんの三人娘(?)は何年くらい前からだろうか、芦品の月次祭の前日にいつも三人で、芦品の教会へ泊らせて頂いていました。12日のひのきしんの夜は、毎月とても楽しみでした。芦辺の会長さんや稲田さんに昔の話を聞かせて頂き時間のたつのも忘れるようでした。

芦辺の会長さんがつくられたぶどう酒を炭酸でわり、三人で仲よく宴を開いたものでした。私気がきかして、おつまみを買って来ると「まさよちゃん、今日一日は、単独布教のつもりで何も買わないである物をいただきますしよ。」と言われ

ました。私は芦辺の会長さんが月に一回、自教会の祭典のお供物を買うだけの買物しかしないと聞いていたので、12日くらいは、何かめづらしいものを、と思いましたが、先輩の言われる事なので、素直に聞かせて頂きました。

12日はひのきしんの方々が帰られて、三人で草取りのひのきしんをさせて頂いていました。日が暮れるまで、延々と草取りは続きます。冬は日が暮れるのが早いので、よかったです。夏は蚊取線香をつけて、とても長い時間、ひのきしんをさせて頂きました。私は早く夕方にならないかなと思った日も、たびたびありました。芦辺の会長さんは、何かに、とりつかれたくらい一生懸命、草取りをされました。だから、夕勤めがすんで夕食をいただき、いろいろ話をしたら、もうボタンキューです。

もうひとりの稲田さんもかん節の手術をされたので、長い間、参拝にいられていません。

今、あの頃がとてもなつかしいです。

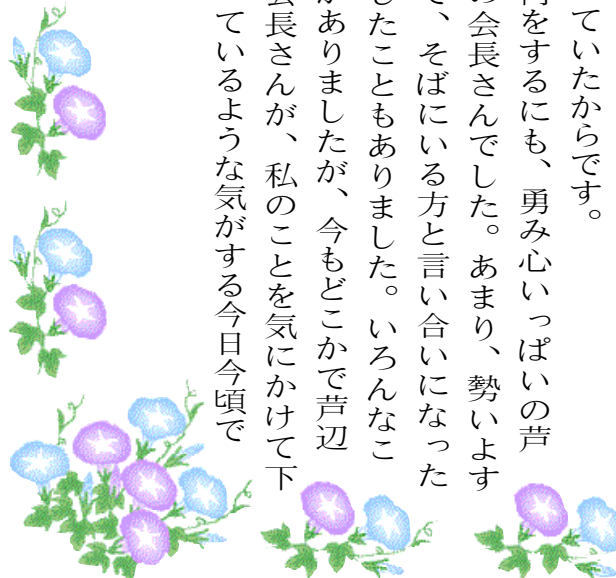
芦辺の会長さんはとてもいい日に出直されました。というか、その日がとても覚えやすいのです。十一月六日(いいむっちゃん)松岡陸代さんなので、とてもゴロあわせがいいなあ、忘れられないような日に出直されたなと思っています。

いつか大教会の行事の時、はでなドレスを身にまとい、高屋の会長さん達と大教会のぶたいでダ

ンスを踊られました。とても、かわいく年令以上に若くみえたのを思い出します。

また、芦品の三月と九月のみたま祭では、私の母に「こっちゃん、おたちをさせてもらおうや、こういう時しか、おたちはさせてもらえんけえ」といって、いつも私の母とおてふりをしていました。毎月の月次祭では芦辺の会長さんはすわりづとめのお琴、私の母はすわりづとめと決まっていたからです。

何をするにも、勇み心いっぱい芦辺の会長さんでした。あまり、勢いよすぎて、そばにいる方と言い合いになったりしたこともありました。いろんなことがありましたが、今もどこかで芦辺の会長さんが、私のことを気にかけて下さっているような気がする今日今頃です。



心づくしの三日講習会

稲福布教所 中下和美

六月十三日、三日講習会を一年かけて終了し、只今、ホツとしているところです。

以前より所属の布教所長さんから「修養科は、ええでー。修養科へ行ったら人生観が変わるよ」と勧められていました。行ってみたいとは思いますが、れども仕事を持っていると中々踏み切れないままでした。

三日講習会を知ったのは、昨年春、大教会への日参中。陽気ぐらし新聞の隣に置かれていたパンフレットでした。その内容は、「三日間の講習をⅠ・Ⅱ・Ⅲと三回受講。条件としては、「おさづけの理」を頂いている事、「座りづとめ」・「よろづよ八首」ができる事。三日講習会の修了は修養科修了と同等になるというのですぐ講習Ⅰの申し込みをしました。と同時に踊れない「よろづよ八首」の特訓を一ヶ月後の入講を目指し不安の中で練習をしました。

入講日、ビックリしたのは、お世話係というスタッフの笑顔と暖かい声かけでした。荷物は持って下さるし、丁寧な説明、案内と予備知識もなく一人で参加した私の不安は一気になくなりました。

三日間は男女三人ずつに班付の先生でグループとなり、勉強・食事・ミーティング・ひのきしん等を共に行動です。

講義では、親神様をはじめ色々教えて頂きました。また、教会長さんの体験や不思議な御守護等の話は、眠気も飛んでしまいます。休憩時は飲み

物のサービスがあり、珈琲・紅茶・ココアに抹茶・チョコレートで緊張をほぐすことができました。宿舎にも珈琲コーナーがありいつでも自由に飲むことができ珈琲好きの私には有難い事でした。スモーカーには広い喫煙室があり柔らかな椅子が用意されていた。禁煙ブームの中、排除ばかりを考えるのでなく一人一人を大事にして下さるのが嬉しかった。

修養科は、いろんな事情・身上の人が三ヶ月に渡って心の入れ換え、人生の切り換えをしに行きます。三日講習は、9日間の凝縮したハードなカリキュラムでの勉強ですが、その中でいろんな人に触れ合い、今までと違う感じ方、考え方も受け入れるようになった。

三日講習会は、神様の勉強をするだけではなく、受講生に喜んで帰ってもらおうという、スタッフの方々の細かいところまでの心尽しに感激し「感謝」の一字の講習会でした。

まだ受講されていない人は、さすが『天理教』の体験を勧めます。

そして、三日講習会受講を大変喜んで下さった高屋会長様、稲倉会長様、「よろづよ八首」「十二下り」を毎日教えて下さった稲福布教所長様に感謝致します。

良いと思ったら、心が動いたらまず行動。その中で得るものは沢山ありますヨ

◆教会おとまり会

今年の夏も心をすみきらせて子供達を
教会につなぎ、親神様への感謝の心を育みましょう。

「教会おとまり会」のプログラム例

午後	6:00	集合・参拝。自己紹介ゲーム、おつとめ練習
	7:00	夕づとめ・会長さんのお話し
	7:30	夕食(カレーライス)・あとかたづけ
	8:30	入浴
	9:30	就寝準備
	10:00	就寝
午前	6:00	起床・洗面・ひのきしん(空き缶、ゴミひろい)
	7:00	朝づとめ
	7:30	朝食・あとかたづけ
	8:30	参拝・解散

- * こどもおちばがえりの前か後に「教会おとまり会」を進んで開催しましょう。
- * 何隊か団委員が取材に訪問させていただきます。
- * 報告書の提出をよろしくお願いします。(なるべく写真も添付してください)

ENGLISH SEMINAR

～ 第68回英語講習会 ～



今年も外国から先生が来ます。会話を中心に
役立つ英語を勉強しましょう。

初めての人、大歓迎！英語が好きな人も、そうでない人も明るく楽しく 英会話を勉強しましょう！
今年から、にをいがけに役立つ「布教英会話クラス」も始めてみます。可能性が世界へ広がるかもしれないよ！



[募 集 要 項]

期 間 : 8月6日(金)午前9時受付～7日(土)午後3時ごろ解散
受講 対象 : 小学4年生以上、中学生、高校生、大学生、一般
受講 御供 : 1500円(宿泊費、食費、受講費など、全て込み)
持 参 品 : 英和、和英辞典(あれば)、筆記具、着替え、洗面具等
プログラム : 少人数による英会話学習、パソコンによる英語学習、
映画鑑賞、英語ゲーム、おつとめ、講話、ひのきしん等
(復活！テーブルマナーの勉強)

尚、詳細はスタッフの上原志郎 TEL 0865(66)1311
吉岡誠一郎 TEL 086(282)0550
もしくは、大教会までお尋ねください。

(御連絡下されば、当日、JR 大門駅まで送迎いたします。)

◇ 主催 天理教笠岡大教会 海外部

714-0066

笠岡市用之江377 TEL 0865(66)1311

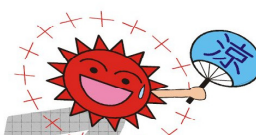


◆布教推進講習会

- 【日 時】 8月21日(土) 8月月次祭 祭典講話 として
【講 師】 田 中 勇 一 先生(本部布教部ひのきしん課長)
【講 話】 「信仰と天理時報」。

みんな集まれ

サマサマキキャン



大募集!! 少年会笠岡団
学生担当委員会

8月22日(日)~24日(火) 2泊3日

- ☆集 合 8月22日 午前8時半 大教会
☆行 先 国立室戸青少年自然の家
☆内 容 シーカヤック、シュノーケリング、キャンプファイヤーなど
☆持 参 品 弁当一食、水筒、着替え、洗面具
帽子、長そでシャツ、ズボン、水着
☆対 象 少年会員(小3~中3)
高校生以上は育成係
☆定 員 30名
☆参加御供 3,000円
☆申し込み 各教会又は大教会 〆 切 8月10日



第833期修養科募集要項

***修養科期間**

立教173年9月1日～11月27日

***教 養 掛**

3ヶ月間 吉 岡 誠一郎 (大教会准役員・興明分教会長)
 1ヶ月目 平 盛 秀 年 (福昭分教会長)
 2ヶ月目 桑 本 光 則 (上吉野分教会長)
 3ヶ月目 吉 岡 孝 彦 (芦品分教会長)

***募集要項**

- ・志願者は、9月末日現在で満17歳以上で、下表の必要書類を携え、上級教会を經由して大教会に順序参拝すること。
- ・8月25日までに笠岡詰所に入所し、教養掛の面接を受けること。
- ・3ヶ月の修養期間を修了後は、大教会での修養科修了講習会を受講し、11月29日の昼食後に解散。

***教 科 書 (必須)**

『おふでさき』、『みかぐらうた』、『天理教教典』、『稿本天理教教祖伝』。

***参 考 書 (出来れば持参)**

『おてふり概要』、『なりもの練習譜』(笛・打楽器または三曲)、『おやしき・史跡案内』。

***携 行 品**

おつとめの扇、筆記用具、認印、笛(男鳴物の講義で笛と小鼓の内、笛を選択する人のみ)。

***服 装**

ハッピー及び帯・バンド、長ズボン(又は、それに類するもの)、靴。

書 類	大教会	詰所	備 考
「順序参拝票」	○	○	
「別 席 願」	○	○	・「初席願」の順序参拝がまだの者で、修養科入学後に初席を運ぶ者のみ。
「席 札」		○	
「別席のしおり」	○	○	・願書に日付を入れない事。
大教会 御供	○		・おさづけの理拝戴願の順序参拝も合せて行なう。
本 部 御供		○	・「別席の誓いの言葉」は別席の誓いの日までに覚えること。
「おさづけの理拝戴願」	○	○	・「おさづけの理拝戴願」の順序参拝がまだの者のみ。
「おはなし」	○		・願書に日付を入れない事。
大教会 御供	○		
本 部 御供		○	
「修養科入学願」		○	・御供は任意であるが、慣例により、200円以上。
「修養科入学事由書」		○	
大教会 御供	○		
「住民票」		○	

六月月次祭祭文

これの笠岡大教会の神床にお鎮まり下さいます

親神天理王命の御前に 会長上原理一慎んで申し上げます

親神様の子供かわいい一条の親心溢れる御守護とお導きのままに 日々は結構に恙なくお連れ通り頂いておりますことは誠に有難く勿体ない極みでございます しかるに世の多くの人々はその事を知らずご恩報じどころか 我が身勝手に生きるのみならず 兄弟同士が苦しめあっている姿は誠に残念でなりません 「めへくのみのうちよりのかりものをしらずにいてハなにもわからん」とお聞かせ頂きますように 私共は日々借りものの喜びと感謝の心一杯に朝夕御礼申し上げますと共に成ってくる理に親心を悟りつつ 一人でも多くの人に真実の親心を伝えるべくたすけ一条の御用の上に勤め励ませて頂いております

その中にも今日の吉日は六月の月次祭を執り行う定めの日柄でございますので 只今からおつとめ奉仕人一同 日々の理作りに励み今日の日を楽しみ寄り集いました道の子供達と相共に 明るく陽気に勇んで坐りづとめてをどりをつとめさせて頂きます 皆の今日の日に寄せる真実心を御覧下さいます 親神様にもお勇み下さいますようお願い申し上げます

さて今月二十七日には別席ひのきしん団参をさせて頂きます 梅雨の最中とて大変出難い中ではありますが大変な中にこそ真実があると「家族揃って」を目指して勇んで勤めさせて頂く所存でございます

又今年も夏の子供おぢばがえりが近づいてまいりました 一人でも多くの子供達におぢば帰りして貰えるように募集の上に励んでおりますが 単なる旅行にならないよう 道の後継者育成に繋げていく所存でございます

何卒親神様には 親を慕い 親に凭れ 親にお喜び頂きたい一心でたすけ一条に邁進する皆の誠実の心をお受け取り下さいまして 万たすけの上に尚も自由の御守護を賜り 人々が真実の親を知り 一列兄弟の理に目覚めて救け合っ お望み下さる陽気づくめの世の状に一日も早く立て替わりますようお導きの程を 一同と共に慎んでお願い申し上げます

・原・稿・募・集・

内 容

- ①小随筆 ②教会・布教所の独自の活動の紹介
③俳句・和歌・川柳 ④教会行事開催後の報告記事 等々

字 数

1000字前後(800字~1200字)
題名・所属教会名・氏名を明記して下さい。
俳句等は1句からでも結構です。

寄 稿 先

下記、大教会内『かさおか』編集掛宛ドシドシご寄稿下さい。

郵便：〒714-0066 岡山県笠岡市用之江377

FAX：0865-66-1314

メール：tenkasa@yahoo.co.jp

尚、原稿はお返し致しませんので、予めご了承下さい。



大教会だより

II 教会指令 II

◎任命願

芳井 分教会

*前任 佐藤 道孝

*新任 佐藤 真孝

☆奉告祭 立教173年7月4日

立教173年6月26日承認

芳井分教会で就任奉告祭

芳井分教会では7月4日

(日)大教会長様御夫妻、役員先生を迎え四代会長就任奉告祭を執り行った。当日は晴天の中、大勢の参拝者が詰めかけた。

◎教会長資格検定講習会修了者

後期 立教173年7月19日終講

明石市 杉原 善朗

◎直属ひのきしん特別隊

自 立教173年7月1日

至 立教173年7月11日

福 勇 福 島 恒 彦
自 立教173年7月12日
至 立教173年7月23日
稲 讚 高 橋 竜 二



この7月2日 出雲ドームで行われた島根教区・中部支部主催の「健康感謝ふれあいゲートボール」が、参加者16コート413人、スタッフ34名で行われた。第5回を迎えて、初めて教友2チームの参加、鳥取県・広島県からの参加者。この大会の呼掛けを地域に点在する教会から始めた。今年は本部より 長野吉晴先生他1名の来賓を受けた。昨年は中田善亮先生。教会本部でも毎年、白川運動場で大規模に開催されている。私は事前の準備から当日は記録掛。PCで①勝ち数②得失点③総得点④対戦結果、をリーグ戦の順位決定方式で決定。白熱の試合には、最高齢

の91歳の男性と89歳の女性が参戦！足取りも軽く参加賞を受け取られた。

中部支部長 石橋泰(高知部属・都茂分教会長、1級審判)先生は、6年前、支部主催の「120年祭 前真柱様御入込 一手一つの集い」で、それこそ「前真柱様御迎えの歌」を作詞して島根教区合唱団「コールメリー」を結成披露し、翌年ゲートボール大会を開催して、島根教区体育文化部を創設されたのです。去る6月6日天理市民会館で開催された「第50回記念 歌う一手一つ」に出演。前夜祭には「ゲゲゲの女房」を模した寸劇、「安来節・どじょうすくい」の滑稽さに前真柱様も抱腹絶倒されたとか？これ等の事が道友社から取材を受ける事になり、合唱からゲートと地域とのふれあいを題材に近々CS放送で流れるそうです。活動的な石橋支部長は、本部の「野郎会」のメンバーで、前真柱様と御懇意にされていると聞き及んでおります。

今年より地方委員の立場から、支

部の体育文化部長を指名頂き、私は、部活動の一員として使って頂く幸せを感じております。

さて、肝心のドーム大会は・・・お楽しみ抽選会や全チームへの敢闘賞などで融和なゲーム運びとなりました。採点は2台のPCで個々のソフトで計算をします。私の方は、コートのチーム名を入力すると、10試合対戦と審判が表示されて、得点入力フォームに勝ち点を入力、同点の場合は優勢チームに1点を追加、結果はコート順位、総合順位。①④の数字も、コート対戦表も出る仕組みです。こんなすごいソフトを作った新田豊道さん！本部の長野先生に「そのソフト・・・本部で使われて・・・もらえんやろか・・・」と。OKとの事。各賞のビール、清涼飲料水、出雲産のアスパラ等々の商品をゲットされた皆さん「今日は楽しかったよ、又声掛けて下さい」と再会を誓い、後方付けに汗を流すスタッフも笑顔でVサイン。(に)